

都井岬短歌大会

串間市が誇る観光名所である都井岬。実は短歌、俳句にゆかりの深い地であることをご存じですか？日向市東郷町出身の歌人、若山牧水や愛媛県出身の俳人、神尾季羊の歌碑、句碑が建てられています。また、昭和54年の歌会始にて昭和天皇が詠まれた御製の歌碑も、「岬の駅」都井岬前の広場に建てられています。

このように多くの歌に詠まれていた都井岬を文化面から盛り上げたいと、昨年からは市内外の有志が実行委員会を立ち上げ短歌大会を開催しています。2回目の開催となる今回は全国から823首の応募があり、1月

【最優秀賞】
アスパラを
ぼきりと折りて
湯に放つ
隠し事などない顔をして

東京都 林由実

自由詠【入選】

潮騒をきいて育つや蘇鉄たちが
かがり火のごとく朱い実抱きたり
日南市 石倉タミ

満月の庭に黒松の枝の張り
亡き夫好む景となりたり
宮崎市 早川ふき子

「ジャマナカ」とふ山中教授の若き日の
逸話は人に勇気あたへむ
日向市 日高尚子

山の端を人さし指でなぞりゆけば
下弦の月の角に触れたり
小林市 福留佐久子

27日には表彰式が行われました。選者を務めた歌人、

伊藤一彦さんは「今回の大会は技巧をこらした作品よりも、心を率直に述べた歌が多かったです」と講評。また表彰式と合わせて宮崎市の歌人、大口玲子さんが小中高生の作品を取り上げて助言をする短歌教室や宮崎県立看護大学准教授の大館真晴さんによる『日本神話の始まりと歌謡』と題した講演もあり、都井岬が短歌一色になった1日でした。

歌を詠みたくなる場所

都井岬の風景は素晴らしいですね。なかでも目の前に広がる、どこまでも続く『海』。海は日本人にとって、あこがれの場所なんです。水平線のかなたにある遠い世界とつながっている場所。都井岬からは広大な海も、うっそうと茂った森も望むことができます。牧水たちがこの場所に立ったら、歌を詠みたくなってしまったのでしょうか。



歌人・若山牧水記念文学館長 伊藤一彦さん

題詠「岬」【入選】

空っぽの心うるおすマジックは
岬の海を見るしかなかった
日南市 石倉タミ

岬馬に水飲む序列あると詠みし
夫の句徳び牧場歩みぬ
宮崎市 早川ふき子

将来の夫になる人両親へ
挨拶に来て岬見に行く
串間市 土谷広子

草を食む岬の馬の鬣につけたる
飾りは野草の種子か
日南市 高橋恵子

テーマ詠「相聞」【入選】

誕生日祝う言葉にわが長所
そつと添えたる君からの文
宮崎市 濱田千春

パラソルよりはみだしてある束ね髪
光さし添ひこおどりして
都城市 稲吉健一

外面よき夫に宣告潔く受けよ
われとの終身刑を
小林市 福留佐久子

空港のゲートをくぐり吾はもう
ゲートの外の君に文書く
福岡県 猿田史子

小中高生の部【入選】

馬はすき馬はかわいのみさき馬
馬のあかちやん馬は大きい
福島小五年 野崎公輔

別れようと言ったのは僕それなのに
胸がイタくて消しゴム見つめる
福島高校一年 加村秀弥

漆黒の瞳に映る金色を
僕はいまでも追いかけている
福島高校三年 加藤明菜

テスト中おなかの中にテロリスト
通報しても警察来ない
宮崎西高校二年 小坂芳宏

フェイスブック短歌大賞【入選】

おっぱいを飲んですぐ寝てまた泣いて
そんなわが子でフォルダは一杯
串間市 堀口直樹